

平成２２年度 尾張旭市自治会等活動促進助成事業候補選定会議会議録  
ー公開プレゼンテーションー

1 開催日時

平成２２年６月２６日（土）

開会 午前９時３０分 閉会 午後０時３０分

2 開催場所

尾張旭市渋川福祉センター 研修室

3 出席者（敬称略）

【候補選定会議候補選定員（以下「候補選定員」という。）】

伊藤 雅一 学校法人菊武学園 名古屋産業大学 学長

中尾 さゆり 特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズ 主任研究員

酒井 敏幸 市民生活部長

加藤 雄二 財政課長

【申請団体】

- ① 大塚町自治会
- ② 旭台自治会
- ③ 本地ヶ原連合自治会
- ④ 城山連合自治会
- ⑤ 旭前ハイツ自治会
- ⑥ 平子町自治会
- ⑦ 瑞鳳連合自治会
- ⑧ 山の手自治会
- ⑨ 東栄連合自治会

【事務局】

浅見 信夫 市民活動課長

三浦 明美 市民活動課コミュニティ係長

大東 恭子 市民活動支援センター副主幹

三浦 勝之 市民活動課コミュニティ係主査

森重 雄太 市民活動課コミュニティ係主事補

4 会議次第

開会あいさつ

- 1 候補選定員の紹介
- 2 申請事業プレゼンテーション・質疑応答
- 3 候補選定結果発表
- 4 候補選定員講評

5 質疑応答  
閉会あいさつ

5 要旨

「開会あいさつ」

(市民生活部長)：《あいさつ》

「1 候補選定員の紹介」

《候補選定員紹介》

「2 申請事業プレゼンテーション・質疑応答」

① 大塚町自治会 大塚町「お助け隊」

質疑応答

中尾候補選定員：予算で報償費として、「家具転倒防止研修「防災リーダー会」を講師として」とありますが、何人ぐらいの方が参加をされるのか、どのような対応をされるのかを教えてください。

回答：お助け隊17名の他に町内の組長会に呼びかけを行い、瑞鳳公民館で講習会を開催します。防災リーダー会の方から家具転倒防止について学び、先ずは私たちができることを実践することを考えています。

酒井候補選定員：昨年度の独り暮らしの高齢者の自宅の庭木剪定や家屋修理などの実績を教えてください。

回答：家屋の修理は6件ほど行いました。屋根の上など依頼者が修理箇所を見ることができない箇所は、修理前と修理後にそれぞれ写真を撮り、依頼者に納得をいただいています。

酒井候補選定員：申請事業は2年目の継続事業となりますが、改善点など昨年との違いを教えてください。

回答：独居老人の老老介護などの状況については、民生委員がよく把握していますが、町内の実情は組長が把握しているため、今年はその方々と協議を行い、地域全体で活動したいと考えています。

酒井候補選定員：大塚公園の公園愛護会との違いを教えてください。

回答：毎月末に地域で公園整備を行うので、お助け隊はそれまでに草刈りや樹木の剪定を行い、その後に愛護会が遊歩道などの清掃を行うなど、ハード面担当はお助け隊、ソフト面担当は愛護会となっています。

② 旭台自治会 “集会所・月曜サロン”を軸にした「高齢者交流・支援」の事業

質疑応答

伊藤候補選定員：2点ほどお伺いしたいことがあります。1点目は、旭台チケットに

ついてもう少し教えてください。2点目は、集会所を活用した多世代交流ということで、昨年度は「子どもの思い出づくり事業」を実施されましたが、今年度の事業と昨年度の事業がどのように関連しているのかを教えてください。

回答：旭台チケットは千円券のプリペイドカードになっています。使い方は、お年寄りの場合、新聞を縛れない、大きなごみが捨てられない、庭木の剪定をしてほしい時、例えば旭台チケットで500円払えばよいというルールを作っています。また、子どもから大人まで様々な人がボランティアとして動いていますが、子ども達が持つ旭台チケットは、例えば何ヶ月に一度換金出来る形にする、その他の方は、地域の盆踊りやさくらまつりの時に、自治会が換金してみんなで楽しむなど、旭台チケットで地域交流のきっかけを作りたいと考えています。旭台チケットについては、もう少し検討が必要と考えています。

多世代交流については、昨年度の事業を実施してから集会所の活用が増えました。子ども達とお年寄りが同時に集会所を利用することが増え、その結果、お迎えパトの参加者が増えた、子ども達が挨拶をするようになった等の効果がありました。

加藤候補選定員：月曜サロンのテスト期間中にあった具体例は何かありますか。

回答：最近ですが、集会所のガラスを子どもが叩いて割って怪我をした事がありました。すぐに市に報告し、飛散防止フィルムを貼ってもらったのですが、その話題をお年寄りにしたところ、我が家もお願いしたいというお話があり、今までに飛散防止フィルム貼りつけの依頼をされたお宅が3件あります。

### ③ 本地ヶ原連合自治会 自治会加入促進チラシの作成

質疑応答

中尾候補選定員：この事業を実施することで、どの程度の方に加入してもらいたいなどの目標値はありますか。また、チラシ作成後の活用方法について詳しく教えてください。

回答：具体的な数値目標はありませんが、何もしないのでは加入率は上がらないと思います。最近、組長さんが自治会加入の案内に伺った時、自治会加入のメリットについて聞かれ、何も答えられない事がありました。チラシなど何もない場合、相手に自治会加入について説明する事が難しくなるため、チラシを作成することで、ある程度加入率の増加は見込めると思います。また、チラシを作るだけでなく、そこから人と人のコミュニケーションが生まれることが重要と考えています。

酒井候補選定員：作成したチラシは、町内会未加入者に町内会長さんが直接配るのですか。

回答：はい。しかし、課題として、転入者の情報を素早く把握することが重要です。個人情報保護の問題はありますが、行政から転入者の情報をいただくなど、行政と何らかの連携することが重要と考えます。

**④ 城山連合自治会 防犯パトロールによる安心安全な街づくり**

質疑応答

伊藤候補選定員：連合自治会が行うパトロールと、各自治会が行うパトロールの違いを教えてください。

回答：連合自治会は、主に青色パトロール車を使用したパトロールを行っています。各自治会は、主に徒歩でパトロールを行っています。

伊藤候補選定員：事業計画書に、防犯パトロール隊のない地域にも参加を呼びかけるとありますが、参加の見通しはありますか。

回答：防犯パトロール隊が無い地域は3地域あります。各地域それぞれ事情があり難しいようですが、引き続き参加の呼びかけを行っていきたいと考えています。

加藤候補選定員：毎晩車2台によるパトロールは大変な負担と思いますが、パトロール隊員の負担軽減について、何か工夫されていることはありますか。

回答：一部費用を負担していますが、年50回のパトロールに要する車のガソリン代には到底足りない金額でパトロールを行っています。

**⑤ 旭前ハイツ自治会 旭前ハイツ自治会 防災訓練及び防災講話**

質疑応答

酒井候補選定員：この防災訓練は、自治会未加入者が参加することはできますか。

回答：できます。

酒井候補選定員：防災訓練の実施が、自治会未加入者の加入促進のきっかけづくりになりますか。

回答：防災訓練等のイベントは、マンション管理組合と自治会の共催で実施しています。イベントの共催を機に、管理組合の活動が活発になり、かえって自治会が必要無いのではとの意見がでてきてしまいました。しかし、自治会が無いと市との繋がりが薄れてしまうので、助成金でイベントを実施することで、自治会加入のメリットを表したいと考えています。

酒井候補選定員：防災訓練の冊子はマンション全世帯に配布するのですか。

回答：マンション全世帯配布予定です。

中尾候補選定員：自治会のイベントに参加しにくい理由として、住民の休日が分散していることも一つだと思いますが、事業実施日を12月の日曜日の設定した理由は何かありますか。

回答：管理組合や自治会のイベントが重ならないこと、また、阪神大震災が起きた1月に近い日時で設定しました。

**⑥ 平子町自治会 平子町自治会一斉防犯パトロール**

質疑応答

伊藤候補選定員：防犯パトロールがボランティア活動から自治会の活動になったこと

で、何か変化はありましたか。

回答：今までは、ボランティアが活動しているという意識のため、参加を呼び掛けても反応があまりありませんでした。また、ボランティアの高齢化により参加者が少なくなっていました。しかし、自治会活動にすることで、地域の意識も変わり、継続的に活動できる体制に変わったことが大きいと考えます。

伊藤候補選定員：昼のパトロールについて、現状と今後の予定を教えてください。

回答：昼のパトロールは、夜に参加が無理な方が参加しています。また、スクールガードとしても実施したほうが良いとの意見から実施しています。7月から9月は、夏休み期間中で昼間は暑いことから、午前10時に実施する予定です。

酒井候補選定員：平子町の特徴として、パトロールに子どもたちが参加していることがありますが、子どもたちが参加することで何か良いことはありますか。

回答：子どもが参加することで、その親も参加してくれることが一番ありがたいです。

## ⑦ 瑞鳳連合自治会 瑞鳳校区パトロール隊 瑞レンジャー

質疑応答

中尾候補選定員：昨年と比べ今年の1番の改善点やポイントを教えてください。また、自治会加入率を上げるため、何か予定している活動があれば教えてください。

回答：毎年、夏休み前に小中学校の校長先生や守山警察署などと地域懇談会を実施していますが、今年は、みらい子育てネット、婦人会や PTA 連絡協議会など、子どもたちに携わっている団体から見た子どもの変化について発表していただくなど、他の団体にも参加をしていただく予定です。自治会加入率については、チラシを配布しても加入されない方、加入している方でも高齢になり辞められる方など様々ですので、地域でもっと話し合う必要があると考えています。

酒井候補選定員：5年間の活動で、住民の反応に何か変化はありましたか。

回答：最初に比べ、組織の認知度が上がったこと、瑞レンジャーの名称が定着してきたことで、会話の中で瑞レンジャーという言葉も交わされるようになりました。

## ⑧ 山の手自治会 山の手地域生活環境美化事業

質疑応答

伊藤候補選定員：申請事業のハード面の事例として、ごみステーションの整備、看板の見直しなどがありましたが、事業のソフト面の効果や環境美化活動の全体像を教えてください。

回答：課題として相談中ではありますが、既にごみステーションの清掃活動を行っているなど、進んだ取り組みをしている町内の事例を参考に、防犯・防災に強い全員参加のまちづくりを目指したいと考えています。

伊藤候補選定員：地域において、申請事業のきっかけである「まち美化大作戦」の前後で変化のあったことはありますか。

回答：市から「まち美化大作戦」について話があった時、地域としてどのように取り組むかを考えるため、実行委員会を立ち上げ、組織の末端まで情報が伝わるようにしました。ごみを拾ったという活動よりも、組織の末端までまち美化の考え方が浸透した事が重要と考えています。

加藤候補選定員：自治会の賛助会員となっている特別養護老人ホームとの関係について教えてください。

回答：特別養護老人ホームには、一つの町内という形で、自治会等の活動に参加してもらっています。

### ⑨ 東栄連合自治会 東栄連合自治会 環境美化活動

質疑応答

中尾候補選定員：昨年度からの継続事業ですので、前年度の事業成果を教えてください。

回答：平成20年度は250個、平成21年度は700個のバックを主にどんど焼きで配布しました。今年度は、多くの世代が参加する地域運動会で配布したいと考えています。

中尾候補選定員：来年度以降もバックの配布を予定していますか。

回答：環境美化に対する意識に変化がなければ、環境美化活動の参加意識を持っていたくためにも、標語の応募を募りながら実施していきたいと考えています。

酒井候補選定員：今年度のバックは昨年度と同じ大きさの物を予定しているのですか。また、昨年度に実施した看板の掲示は行わないのですか

回答：バックの大きさについては同様の物を考えています。看板については、増えすぎるとかえって効果が薄くなると思われるので、今年度は作成する予定はありません。

酒井候補選定員：全戸配布のチラシはどのような内容を予定していますか。

回答：環境美化活動の内容に沿ったチラシを作成して配布する予定です。

### 「3 候補選定結果発表」

|     |           |       |      |           |
|-----|-----------|-------|------|-----------|
| 1 番 | 大塚町自治会    | A ランク | 助成金額 | 60,000 円  |
| 2 番 | 旭台自治会     | A ランク | 助成金額 | 92,000 円  |
| 3 番 | 本地ヶ原連合自治会 | A ランク | 助成金額 | 57,000 円  |
| 4 番 | 城山連合自治会   | A ランク | 助成金額 | 100,000 円 |
| 5 番 | 旭前ハイツ自治会  | A ランク | 助成金額 | 37,000 円  |
| 6 番 | 平子町自治会    | A ランク | 助成金額 | 68,000 円  |
| 7 番 | 瑞鳳連合自治会   | A ランク | 助成金額 | 100,000 円 |
| 8 番 | 山の手自治会    | A ランク | 助成金額 | 100,000 円 |

9 番 東栄連合自治会 Bランク 助成金額 70,000 円

#### 「4 候補選定員講評」

##### 中尾候補選定員

1 番から 3 番について公表させていただきます。皆さんがプレゼンテーションの時間を守っていただけたことが、前年度と比べ大きな改善点となっていると思います。評価には発表内容という項目があるため、ルールに沿った発表というのが評価されます。

大塚町自治会は、民生委員などと連携をしていく点を高く評価しました。どこの組織も人手不足のため、似た活動を行っている組織と連携することが重要と考えます。

旭台自治会は、前年は子ども対象、今年度は高齢者対象と対象は変わっても、集会所を活用して地域のつながりをうまく作っていく点が良いと感じます。働き盛りの年代や子どもの親をどのように活動に参加してもらうかが鍵と感じます。

本地ヶ原連合自治会は、チラシを作った後の活用方法が重要と考えます。加入を個別に呼びかけるほかに、自治会の活動内容を知ってもらう事も必要と考えます。

##### 酒井候補選定員

城山連合自治会は、現在の防犯パトロール活動のレベルアップ、地域の課題解決に貢献することから、公益性は高いと判断しました。また、地域のパトロールについて、広域は連合自治会、小中地域は自治会といった区分けも出来ていることが、地域特性を生かした活動が行われていると考えます。

旭前ハイツ自治会は、地域の課題解決と自治会加入促進を兼ねた事業であり、公益性は高いと判断しました。また、事業終了後は冊子を配布する、炊き出しも実施するなど、発展性は高いと判断しました。

平子町自治会は、ボランティアから自治会事業になり、地域の皆さんの理解が得られたことが重要と感じます。また、地域の子供と一緒に活動することは、将来の地域活動の発展に貢献する可能性が高いことも評価いたしました。

##### 加藤候補選定員

瑞鳳連合自治会は、瑞レンジャーという地域独特のキャラクターを作っていることを評価しました。事業の特徴のなかに、出来るときに気長に気楽に安全にとありますが、今日の発表で非常にしっかりした組織であり、マン・パワーがあることが非常に感じられました。また、地域安全懇談会において、地域が子どもを育てていくという意識を強く持っていることを高く評価しました。

山の手自治会は、地域活動を進めるには地域の実情を知ることが重要なので、山の手自治会のように足で歩く環境美化は、地域の実情を知ること及び地域交流を図ることに貢献する活動と感じます。この地域は、市北部の自然が多い地域でもあり、地域

の皆さんが愛情を持って取り組んでおられること、地域内の特別養護老人ホームと共に地域活動に取り組んでいることについて、高い評価をいたしました。

東栄連合自治会は、毎日の犬の散歩を防犯と地域の子どもの見守り活動に活かすという着眼点は非常に有効と考えます。しかし、この事業は継続事業であり、昨年度と比べ看板の設置が無いなど、評価項目の発展性にあたる部分にもう少し工夫がほしいと感じました。また、昨年度配布したバックが地域でどのような使われ方をしているのか、どのような効果があったのかについての事業検証やその発表があれば良いと感じました。

#### 伊藤候補選定員

全体の総括をさせていただきます。最近では地域の取り組みが注目されていますが、活動の担い手の減少から、活動を行う事が難しくなっている中で、皆さんのように新しい取り組みを始めることはとても大変な事と思います。今日、皆さんが発表された自治会などの新しい取り組みは、ぜひ成功させていただきたいと考えます。

また、今年度は申請事業9件のうち3件は昨年度からの継続事業でした。継続事業は、昨年度の事業成果についての検証、及び今年度の改善点など発展性の評価がシビアになってきます。来年度に継続事業の申請を考えている自治会等は、発展性を考慮して、今年度の事業を進めていただきたいと考えます。

皆さんの取り組んでいる活動が様々な地域に広がり、住みやすい尾張旭市を作っていくことに繋がることを期待しています。

#### 「5 質疑応答」

意見：地域防犯活動の充実のため、市には更なる助成制度の充実をお願いしたい。

意見：先日の市民団体を対象とする助成制度とは異なり、自治会等は構成員である自治会等員が多いことから、申請事業が自治会等員の承認を得ているかの確認をとるため、来年度からは、自治会等の年間事業計画に組み込まれている事を確認する手法を考えたほうが良いと思います。

意見：青パトの実績ですが、最近、パトロール中に放置自転車を2台見つけました。

2台とも防犯登録番号があったので、交番に届けたところ持ち主が見つかりましたことを、この場を借りて報告させていただきます。

意見：5月にこの助成金の通知をいただきましたが、今年度の自治会の事業計画や予算については既に決まっていたので、申請した事業を実施するため、自治会で何回と会議を行いました。しかし、地域で取り組む事業であるならば、当初から事業計画に組み込む必要があることなので、われわれの今後の反省点として活かしたいと考えます。

意見：来年度は、プレゼンテーションで利用できるパソコンやパワーポイント等のス



ペックを事前に教えてください。

市民活動係長：ご意見は来年度に活かしたいと思います。

意見：自治会長や町内会長は1年で代わるが多いため、この助成金の情報や事業などを引き継いでいくことは非常に難しいと思います。継続的に役員等を務めている方がいる自治会等は大丈夫と思いますが、実際はそのような自治会等は少ないのが現状です。

市民活動係長：市でも年度末に連合自治会長会議や手紙でこの助成金の実施について連絡はしておりますが、引継ぎ等の関係で情報が伝わらない自治会等があることは、今後の課題の一つです。

意見：この助成金の対象となる事業は、自治会等が取り組むべき内容なので、この助成金は自治会等の引継ぎ事項になってくると思います。例えば、事業毎に担当部門を作れば、会長が変わっても事業を継続していくことが出来るので、そのような工夫が必要と考えます。

意見：市がこの助成制度の活性化を目指すならば、申込用紙には自治会等の自己資金を記載する箇所があるため、自治会等全員が申請事業について理解し参加することを確認する文章などが必要と考えます。

意見：なぜ継続事業の申請は3年までと定めたのかを教えてください。

市民活動課長：自治会等では、盆踊りや敬老事業など継続的に実施している事業もありますが、自治会等の活性化のために、積極的に新しい事業を展開していただきたいという思いがあり、継続事業の申請は3回とさせていただきました。

意見：事業の担当部門がある自治会等は大丈夫ですが、そのような仕組みがない場合には、年度末にこの助成制度の情報を得たとしても、新しい会長や役員にどのように引き継いでいくかが非常に難しいので、新規事業の展開も難しいと考えます。

市民活動課長：今年度も、この助成金の中間発表会及び交流会を開催する予定ですので、自治会等の現状や皆様のご意見をお聞かせ願えればと考えています。

意見：自治会等は行事と事業を分けるべきと考えます。盆踊りや運動会など、継続して実施した結果、自治会等の活動として定例的になったものは行事と考えます。また、自治会等の課題解決のため、新たな活動を行う場合は、それを事業と考えます。この助成制度は、3年の間に申請した事業が行事になるように、自治会等が会員に周知していくことが必要と考えます。

## 「6 閉会あいさつ」

(市民活動課長)：《あいさつ》